

ハートがたくさんさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切に、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回も、「人権に関するさまざまな情報」についてお伝えします。

えせ同和行為に 関する知識

■同和問題とは、

わが国社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分改造構造に基づく差別により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられてきました。これらの人々は、今もなお結婚を妨げられたり、就職で不公平に扱われたり、その他日常生活のうえでいろいろな差別を受けることがあります。これが「同和問題」と言われるもので「部落差別」「部落差別問題」などとも言われ、わが国固有の人権問題です。

■えせ同和行為とは

「同和問題はこわい問題であり、面倒だ、できれば避けたい」との誤った意識を悪用して何らかの利権を得るため、同和問題を口実に、企業・行政機関等や個人に対して、「ゆすり」「たかり」などをする行為が「えせ同和行為」です。この「えせ同和行為」が、国民に同和問題に対する誤った意識を植え付ける大きな原因となっています。その場しのぎの安易な妥協や

恐怖心などから不当な要求に応じる例も見受けられ、これらはえせ同和行為のさらなる横行を許す背景ともなっています。

同和問題は、国民の基本的人権に関する重要な課題のひとつであり、人権擁護機関をはじめ多くの人々が、その解決のため長い間さまざまな啓発活動を行ってきました。ところが、えせ同和行為は不当な要求を受ける人々の人権を侵害しているのみでなく、国民の間に同和問題に対する誤った意識を植え付け、新たな差別意識を生む大きな要因となっており、多くの人々が積み重ねてきた啓発活動の効果を一挙に覆すものであり、部落差別解消への道に逆行する行為といえるものです。

■排除の対象と目的は

えせ同和行為排除の対象となるのは、「当該行為そのもの」です。団体ではありません。また、えせ同和行為をする者がどのような団体に所属するかも問いません。同和問題を口実にこのような行為をする者は、もはや同和問題の解決を語る資格はありません。不当な要求に対しては、き然とした態度で臨み、つけ入るすきを与えないこ

とが肝要です。

えせ同和行為排除の目的は、当該違法、不当な行為の排除と同時に、新たな差別意識の発生を防止し、同和問題を解決するところにあります。

真の差別のない平和で住みよい社会の実現のため、国民一人ひとりが責任と勇気を持ってえせ同和行為の排除のために取り組む必要があります。

■えせ同和行為の態様について

具体的な要求としては、機関紙・図書などの購入、寄付金・賛助金の強要、下請けへの参加強要、融資の強要などさまざまな形態があります。全国の事業所のうち、約2割弱の事業がえせ同和行為による何らかの要求を受けています。要求の多くが、「機関紙・図書などの物品購入の強要」で要求の手口としては「執ように電話をかけてくる」ことが多いようです。

村民みんなで「ハートがたくさんさんの村」をつくりましょう。

役場 人権対策課